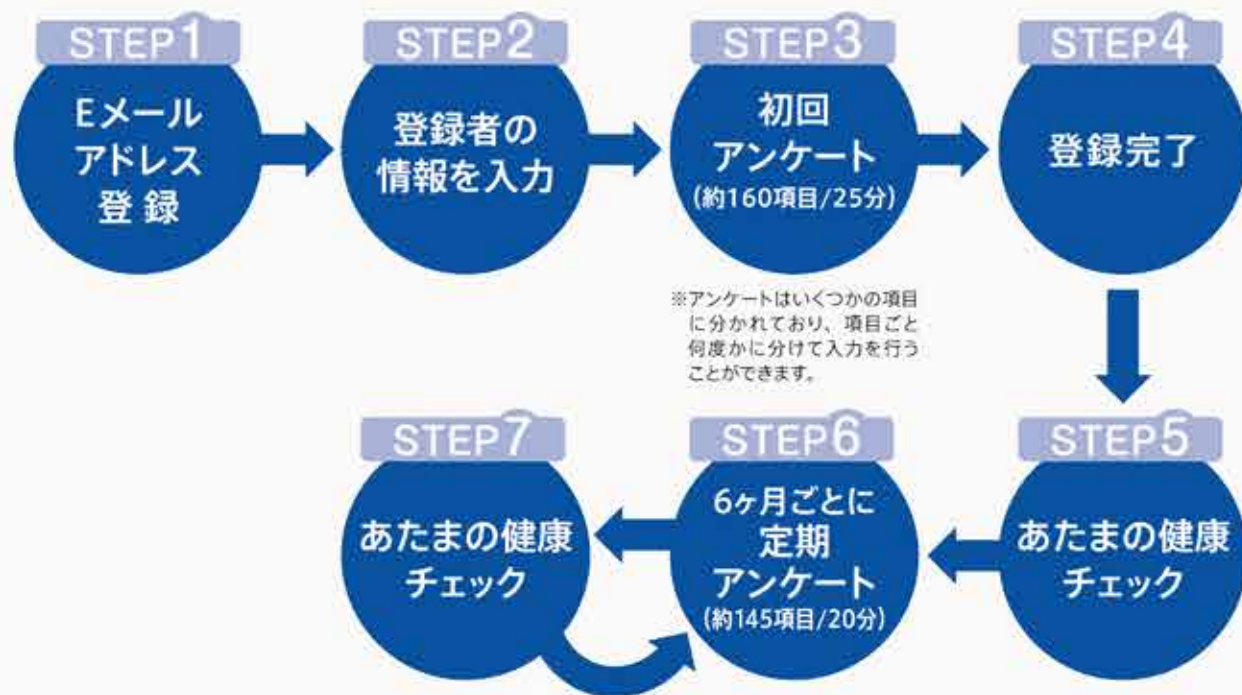


登録方法

iroop.jpにアクセス



登録者のメリット

- 1 IROOP™ あたまの健康チェック
- 2 最新の情報により認知機能低下予防やあたまの健康増進に関する知識向上

IROOP™で提供されるサービスはすべて無料です。

活動グループ

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター (NCNP)

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター (NCGG)

活動支援

本研究は、国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED) の認知症研究開発事業に基づき運用されます。

お問い合わせ先

下記サイトからお問い合わせください。

<https://iroop.jp>



あたまの健康 応援プロジェクトの ご案内

今、大切な人と一緒にあたまの健康 応援プロジェクトに参加しよう！

- P.2 IROOP™の目的
- P.3 日本と世界における認知症・認知症予備軍の状況
- P.4 IROOP™の概要
- P.5 IROOP™あたまの健康チェック コールセンター
- P.6 IROOP™の展望 /IROOP™サイトで得られる認知症予防に関する情報例
- P.7 用語の説明
- P.8 登録方法



IROOP™ (Integrated Registry Of Orange Plan:アイループ) 新オレンジプラン¹⁾に基づく健常者向け統合レジストリ²⁾

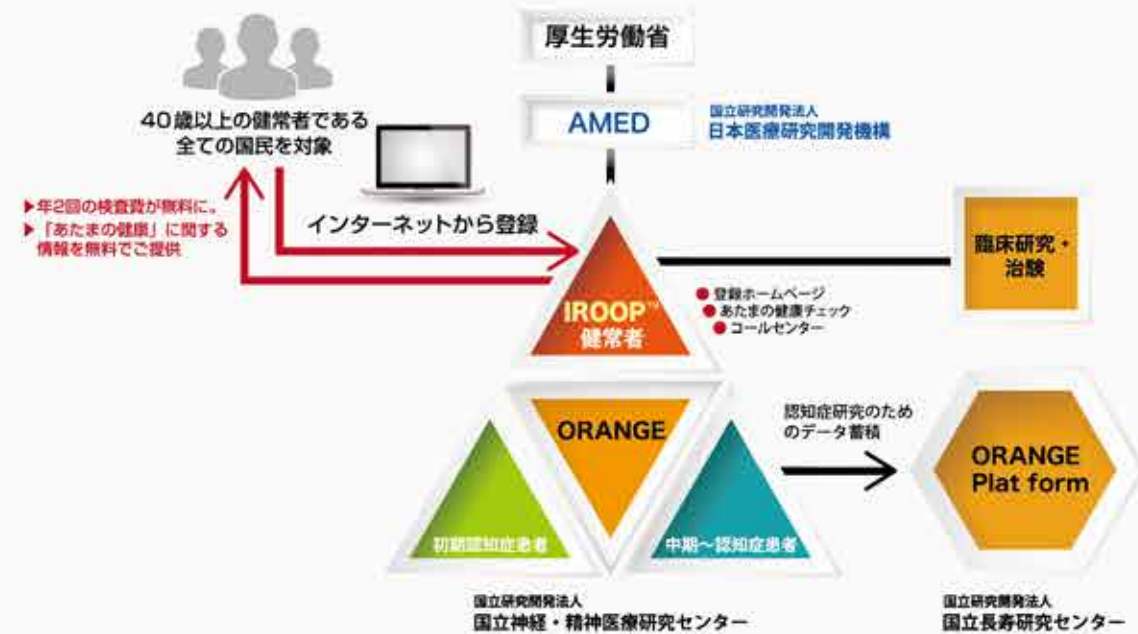
IROOP™は、認知症予防のための健常者向け情報登録システムです。認知症が発症する前の症状をとらえ、生活習慣の改善などにより認知症の発症を予防する因子を解明すること、および、認知機能の改善が期待される薬の開発のための臨床研究³⁾や治験⁴⁾を促進することを目的とします。また産官学から提供される最新の情報により認知機能低下予防やあたまの健康増進に関する国民の知識向上を図ります。

認知症予防を目的とする40歳以上の健康な日本人を対象とした数万人規模のインターネット登録システム(レジストリ)の運用は、公的機関主導では日本初の取り組みです。この健常者登録システムは、認知症の発症を予防するための方策を見つける研究や、認知機能の改善が期待される薬の効果を確かめる治験に関するご案内をご希望者へ提供してまいります。また、認知症予防に関する様々な最新情報をご提供します。

国民ひとりひとりがご自身や大切なご家族のための認知症予防に役立てるインターネット健常者登録システム、これがIROOP™(アイループ)です。

IROOP™は、国の認知症施策推進総合戦略である新オレンジプランに基づき、脳とこころの疾患の克服を目指す国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター (National Center of Neurology and Psychiatry; NCNP)により運営されています。

新オレンジプランに基づく認知症予防を目的とした 認知機能検査も実施する健常者レジストリ



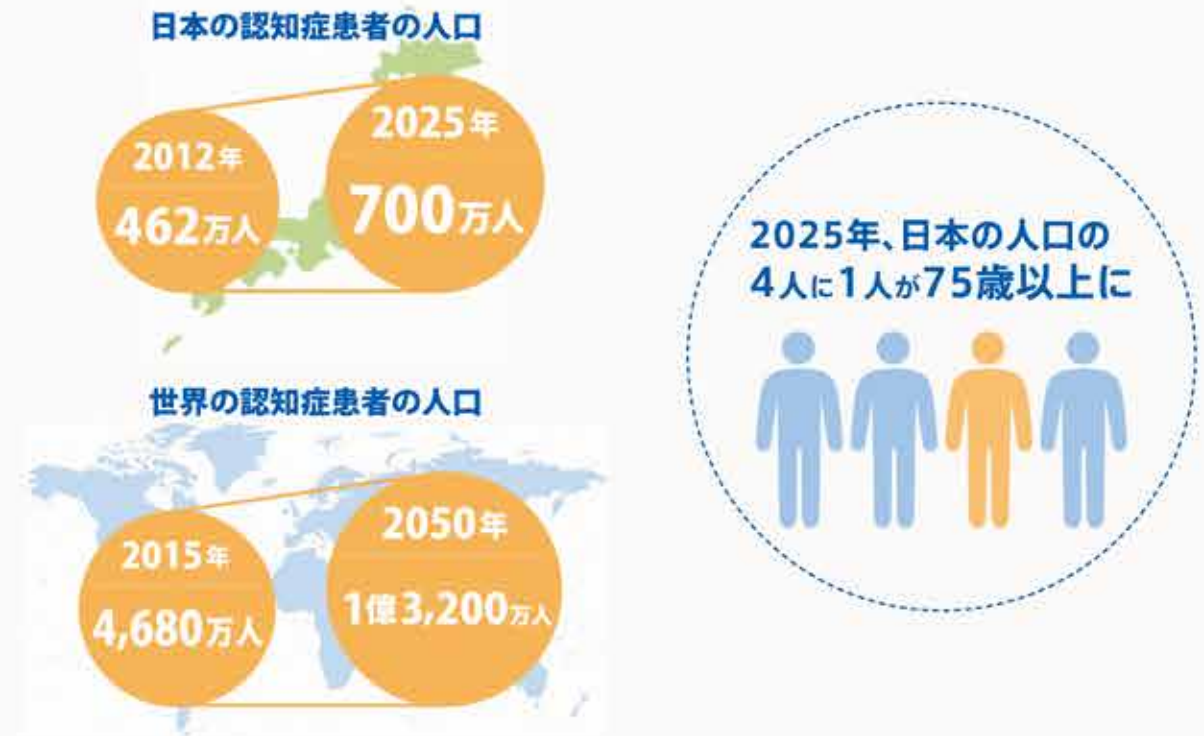
ロゴの由来 認知症サポーターの目印であるリングが、寄り添い合う人々を優しく包むイメージです。また、支え合う人は掌にも見え、認知症の知識や、認知症の課題を大切に優しく受けとめる様子を表現しました。

日本と世界における認知症・認知症予備軍の状況

日本では、2025年には団塊の世代が75歳を迎え、実に国民の4人に1人が75歳以上という社会が到来します。これに伴い認知症人口も2012年時点での462万人から700万人にまで増加することが予測され、予備軍を含めると相当数に上ると推計されています。

認知症は社会の高齢化とともに、世界規模で急増しつつあります。このため、認知症、特にアルツハイマー病に対する対策が急がれています。しかし、アルツハイマー病を根本的に治療する薬の開発が進んでいるとはいえません。この1つの原因として、認知症の発症を予防するための方策を見つける研究や、認知機能の改善が期待される薬の効果を確かめる治験が計画されている場合でも、その有効性を検証するに適した方々に効果的に参加募集のご案内をすることが難しいことがあげられています。

あるイギリスの事例では、環境要因や生活習慣病への取り組みがなされ、認知症の有病率が下がったという報告があります。このような取り組みの重要性や有効性を確かめるためにも、多くの方々に予防策を実証する研究に参加いただき易い環境整備が求められています。



IROOP™の概要

- IROOP™の登録システムは、IROOP™サイトとデータベースから構成されています。
- IROOP™サイトでの登録に際しては、まずIROOP™での情報管理体制や運用方法等についての同意意思を確認の上、登録者のEメールアドレスを登録いただきます。
- その後、登録者の氏名、生年月、性別等の基本的な情報の入力を行います。
- 基本情報を入力後、初回アンケート(約160項目 / 所要約25分)にお答えいただきます。
- アンケートは、いくつかの大項目に分かれており、大項目ごと何度かに分けて入力を行うことができます。
- 登録から6ヶ月ごとに定期アンケート(約145項目 / 所要約20分)にお答えいただきます。
- 初回、定期アンケートの後には、簡易な記憶力チェック「IROOP™あたまの健康チェック⁵⁾」(所要約15分)をご自宅の電話や携帯電話を通じて無料で受けていただけます。
- アンケートへ回答後、マイページに「IROOP™あたまの健康チェック」専用フリーダイヤルと受検番号が表示されます。
- 「IROOP™あたまの健康チェック」の結果は、チェックの翌日から登録者ご自身のマイページから閲覧いただけます。
- 定期アンケート時期のお知らせやご希望の方々に最新情報のご案内がIROOP™のメール配信システムにより登録のEメールアドレスに随時、送信されます。
- IROOP™でのデータ管理については、個人情報管理責任者が厳正に管理します。
- IROOP™データベースに保存される情報については、個人情報の保護に関する法律、ならびに、厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等に従い、真正性・保存性が担保された堅牢なセキュリティ対策を施し厳重に管理されます。
- IROOP™に関連する同意の撤回や登録データの削除依頼などは、登録者が希望する場合にはいつでも行うことができます。



IROOP™では、 日本全国の40歳以上の健康な方々[※]に インターネット上での登録を数万人規模で募ります

登録された方々には IROOP™サイト上で生活習慣などの初回アンケートに答えていただきます。以降、6ヶ月ごとに定期アンケートへの回答をいただいた上で、簡易な記憶力のチェックである「IROOP™あたまの健康チェック」を、専用フリーダイヤルを通じて無料で受けていただけます。この半年ごとの記憶力の経過に関連する因子をアンケート情報から調査・解明することを目指し、認知症の発症予防に役立てます。

※原則として認知症と診断されていない方が対象です。

IROOP™あたまの健康チェック コールセンター



IROOP™の展望

IROOP™サイトでは、あたまの健康に関する様々な最新情報を提供していきます。また登録者が希望される場合には、生活習慣の改善などにより認知症の発症を予防するための方策を見つける研究や認知機能の改善が期待される薬の治験をご案内します。さらに、この半年ごとに入力された生活習慣などに関するアンケート情報から記憶力の経過に関連する因子を調査し認知症の発症予防に役立てることもできると考えています。

認知症はその多くが、慢性進行性の経緯を辿り、健常者から前臨床期、軽度認知障害(Mild Cognitive Impairment;MCI)、そして軽度、中等度、進行期認知症まで移行していきます。このことから広く健常者の登録者を募ることは、今後の認知症の予防研究では必須と考えられます。

既に欧米では、IROOP™同様にインターネットを用いた健常者レジストリや、アルツハイマー病の予防研究や治験を促進するレジストリが構築され運用されつつあります。IROOP™はこれらのレジストリと協調していくことになっており、IROOP™の果たす意義は国際的にも極めて大きなものであると言えます。

これまで明確な対処法や予防策が少ないというイメージのあった認知症対策ですが、最近の研究では、様々な予防策や認知機能低下のリスク要因などが提示されてきています。ご自身や大切なご家族の健やかな暮らしの為に、わたしたち国民ひとりひとりが最新の正確な情報を基に、日々の生活の中であたまの健康を維持できるような環境づくりを目指す必要があります。そのためにもIROOP™は、登録対象とならない40歳未満の方々へも、ご家族への情報提供や登録の補助などでIROOP™へのサポートをいただけるよう啓発を進めて参ります。

IROOP™では、今後も継続的かつ広域にIROOP™のサービスの広報、啓発、提供を行うために、全国の関連機関・団体、地方自治体、企業などからの運営趣旨への賛同や協力、支援を募って参ります。

IROOP™サイトで得られる認知症予防に関する情報例



最新の医療・予防
研究情報



運動



食事



睡眠



リスク要因



栄養



法律

用語の説明

1)新オレンジプラン

厚生労働省の認知症施策推進総合戦略。「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域の良い環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す」ことを基本的考え方としています。

2)レジストリ

医学の前向き研究の進め方のひとつ。多施設において疾患の情報をデータベースに登録し、症例を積み重ねていき、疾患のさまざまな原因や経過などについて統計的に検討する方法です。

3)臨床研究

人を対象として行われる医学研究のこと。病気の予防・診断・治療方法の改善や病気の原因の解明、患者さんの生活の質の向上を目的として行われます。

4)治験

ひとつのくすりが誕生するには、長い研究開発期間を必要とします。その間、培養細胞や動物でさまざまなテストを繰り返し、有効性の確認と安全性の評価を行います。そして、最後の段階でヒトを対象に行う試験が「治験」です。

5)IROOP™あたまの健康チェック(簡易認知機能検査)

米国食品医薬品局でも新薬治験で採用され、国内の地方自治体でも使用されている簡易認知機能検査である10単語記憶検査日本版(MCIスクリーン※)を電話対応により行います。半年ごとに行い記憶力の変化を経時的に閲覧可能です。



※Shankle WR, Romney AK, Hara J, et al. Method to improve the detection of mild cognitive impairment. PNAS. 2005; 102(13):4919-24.

※Cho A, Sugimura M, Nakano S, Yamada T. Early Detection and Diagnosis of MCI Using the MCI Screen Test. The Japanese Journal of Clinical and Experimental Medicine. 2007;84(8):1152-60.